



ヴェネチア国際映画祭で、新たなウォッチメイキングと ピンクゴールドが競演

ヴェネチア国際映画祭の開催に際して、ジャガー・ルクルトはジュワイアリー 101 コレクションからピンクゴールドを素材とする 2 つの新作モデルを発表いたします。主役の登場に間違いなく誰もが振り返ることでしょう。ジュワイアリー 101 と言えば、優れた時計製造のノウハウと卓越したジュエリー製作の技術を融合し、果てしない物語を紡ぎ出す女性のためのコレクションです。その唯一無二のストーリーは、世界最小の機械式ムーブメントがジュウ溪谷のジャガー・ルクルトの工房で一貫製造された 1929 年にまで遡ります。まさに、高級時計製造とハイジュエリーとの夢の競演と言っても過言ではありません。オリジナルモデルはいずれも、ダイヤモンドの下に伝統の技術を包み隠し、極めて小さなケースはたくさんの秘密を秘めています。ピンクゴールドを使用した 101 レーヌと 101 フィーユは、世界中の女性を、昼夜を問わずヒロインに演出します。

2 つのジュエリーウォッチの中核で鼓動するミニチュアムーブメント

1929 年以降、ジャガー・ルクルト製キャリバー 101 はムーブメントの小型化を象徴するキャリバーとして圧倒的な存在感を放っています。当時は、ポケットウォッチが影を潜め、腕時計が機械的精度と洗練された芸術性を兼ね備えたジュエリーとして女性から絶大な支持を得ていました。このキャリバーは有名なデュオプラン ムーブメントに着想を得たもので、上下の 2 層構造が特徴です。誕生からおよそ 100 年もの間、技術革新に後押しされ、キャリバー 101 は未だに世界最小ムーブメントとしての地位を守り続けています。その大きさはわずか 0.2cm^3 、 $14\text{mm} \times 4.8\text{mm}$ で、厚さに至ってはわずか 3.4mm しかありません。その一つ一つを職人が手作業で生み出す唯一無二のムーブメントで、そのパーツもすべて特別に製作、調整されています。重さはわずか数グラムほどであるこのマイクロメカニズムの傑作は 98 個の部品から構成されており、それぞれが熟練の時計職人の手によって組み立てられています。これほどまでに小型で精密な機械を組み立てることができる職人は極めて少数に限られます。また、テン輪は毎時 21,600 回の速度で振動し、精度という観点からも非常に優れた技術を備えているということは言うまでもありません。

機械技術の最高峰から純粋なジュエリーまで

ジャガー・ルクルトを象徴するキャリバー 101 は、時の流れや流行にも屈することなく、大なり小なり、時には劇的とも言える変化を遂げる女性の願望に応え続けています。今回発表されるピンクゴールド製の新作 2 つもまた、それを証明するようなモデルです。ヴェネチア国際映画祭ならではの魅力に溢れた世界観を忠実に



表現した 101 レーヌと 101 フィーユは、それぞれに 110 個(11cts)、および 167 個(10.3 cts)のパヴェダイヤモンドがジャガー・ルクルトの職人の手によって一つ一つ丁寧にあしらわれています。また、シルバーオパール仕上げの文字盤では控えめな 2 本のバトン型針が永遠の女性らしさを体現しています。ピンクゴールドほど、卓越した機械的精度とジュエリー製作のノウハウの結びつきを際立たせるのに最適な素材が他にあるでしょうか？ 官能的で極めて女性らしく、タイムレスなこの貴金属は、新たな主役に抜擢されるに相応しい要素を兼ね備えています。101 レーヌを威厳という言葉で例えるなら、101 フィーユはよりミステリアスで秘密めいたモデルです。花冠を模して葉の繊細さを想起させるカバーは秘密のメカニズムにより自由自在に開閉することで、時間の経過を知らせたり、隠したりすることができます。植物の生命感を感じさせる曲線的なラインの下では、ブリリアントカットやバケットカットのダイヤモンドがあしらわれた文字盤が人目を忍び、陽光の下でその姿をあらわにします。時計のメカニズムというスターが魅力的なコスチュームを纏っているような新作モデルです。

ジャガー・ルクルトと映画界は特別な絆を有し、両者の間には大胆な想像力と伝統への敬意という共通点があります。2018 年ヴェネチア国際映画祭のパートナーとして、ジャガー・ルクルトは映画スターや女優はもちろん、日常的なシーンを忘れられない特別な瞬間へと変えるすべての女性に敬意を表します。ピンクゴールドの新作モデル、101 レーヌと 101 フィーユにとっては、SIHH 以来の初公開であり、ヴェネチア以上に美しくふさわしい舞台は他にありません。レッドカーペットでも女性の手元でも、この腕時計は時計としてもハイジュエリーとしてもスポットライトを浴びるにふさわしい作品ではないでしょうか。一方で、この腕時計の中核では、それぞれの要素が互いに対立することなく混然一体となり、日々女性を煌めかせる絶妙なパートナーシップを築いています。

2018年9月14日～30日、ホモ・ファーベルでラグジュアリー業界の巨匠たちに出会えます

9月14日から30日までヴェネチアで開催されるイベント、**ホモ・ファーベル**では、『Discovery and Rediscovery』展でも披露されたヨーロッパのラグジュアリー業界をけん引する職人たちの驚異的なスキルや技術を体感することができます。ホモ・ファーベルは、スイスのジュネーブを拠点とする国際的な NPO、ミケランジェロ財団が手掛ける初めてのイベントです。このイベントは優れたクラフトマンシップとクリエイティビティおよびデザインの世界へのつながりを讃え、保存することを目的に企画されたものです。イベント開催にあたり、ジャガー・ルクルトは同ブランドの時計職人が誇る唯一無二の技術のシンボルであり、1929 年の完成以降、世界最小の機械式ムーブメントとして確固たる地位を築いているキャリバー 101 を展示いたします。

詳細はこちら: <https://www.homofaberevent.com/>